

# 一・二級小型船舶操縦士学科試験

## 一般科目 (問1～問50)

問題	D
----	---

受験番号	
------	--

### 【注意事項】

1. 各問題の解答は、必ず別紙解答用紙に記入すること。
2. 各問題の解答は、4つの選択肢のうちから1つだけ選ぶこと。

### 【二級受験者の受験科目及び試験時間】

受有している免許	受験科目	試験時間
無し	一般科目 (問1～問50)	1時間10分
二級(1海里限定) 特殊	交通の方法・運航 (問13～問50)	55分

※ 海技士資格受有者の受験科目と試験時間は別に定める。

※ 配点及び合格基準は、リーフレット(一・二級小型船舶操縦士試験について)を参照のこと。

一級受験者の受験科目及び試験時間は、上級科目の表紙に記載しています。

## 【小型船舶操縦者の心得及び遵守事項】

問1 小型船舶で航行する場合の注意事項として適切なものは、次のうちどれか。

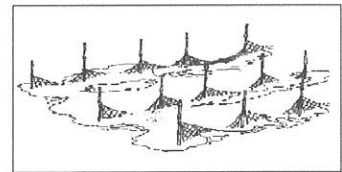
- (1) モーターボートやヨットが航行する水域では、漁業は行われていない。
- (2) 事故が発生した場合は、海上保安庁がすぐに救助してくれるので、自分で対応する必要はない。
- (3) 携帯電話は、通話範囲内であっても、水域によっては通話できないことがある。
- (4) 水面下の障害物や暗礁<sup>あんしやう</sup>は、見張りをしていれば必ず見つけることができる。

問2 水上オートバイの特性について述べた次の文のうち、適切でないものはどれか。

- (1) 船底<sup>かじ</sup>に舵やプロペラが付いていないので、比較的浅い場所でも走行できる。
- (2) 小さくて軽い艇体に高出力のエンジンを積んでいるので、高速で走行できる。
- (3) 船尾から噴射する水流の向きを変えることで進行方向を変えている。
- (4) 速力を落としたり停船したりする場合には、おもに艇体が受ける風の抵抗を利用する。

問3 下図に示す「ノリ養殖漁業<sup>ようしよく</sup>」について述べた次の文のうち、適切でないものはどれか。

- (1) 漁場内は施設を固定するロープなどが多数張られている。
- (2) 網の周囲には、夜間に目印となる灯火が必ず設置されている。
- (3) 陸岸近くの干満差のある浅い場所に設置されている。
- (4) 設置場所や時期は、地元の漁業協同組合に問い合わせれば分かる。



問4 水上オートバイの衝突事故の主な発生原因は、次のうちどれか。

- (1) 船位不確認
- (2) 操船不適切
- (3) 気象海象不注意
- (4) 発航前点検不十分

問5 同乗者に対する船長の責任について述べた次の文のうち、適切でないものはどれか。

- (1) 同乗者に危険を感じさせるような操縦をしない。
- (2) 同乗者からの希望があれば、ライフジャケットを着用させる。
- (3) 同乗者には、危険な行動を取らないように注意しておく。
- (4) 同乗者には、船長の指示に従うように注意しておく。

問6 小型船舶の船長のマナーについて述べた次の(A)と(B)の正誤を判断し、下のうちから当てはまるものを選び。

- (A) 操業中の漁船からはできるだけ離れ、引き波を立てないように注意して航行する。
  - (B) 手こぎボートは引き波の影響を受けにくいので、すぐ近くを航行する場合でも特に速力を落とさなくてもよい。
- (1) (A)だけ正しい
  - (2) (B)だけ正しい
  - (3) ともに正しい
  - (4) ともに誤っている

問7 小型船舶の船長が、出航するときに家族やマリナーなどに知らせておかなければならない事項として最も重要なものは、次のうちどれか。

- (1) 航行予定水域
- (2) 機関の出力
- (3) 燃料の搭載量
- (4) 免許の種類

問8 航行中に事故が起きた場合の処置として適切でないものは、次のうちどれか。

- (1) 負傷者がいないかどうか、いればその程度はどうかを確認する。
- (2) 落ち着いて状況を確認し、必要があれば救助を求める。
- (3) 衝突した場合は、船体の安全確保を最優先に考える。
- (4) 落水した場合は、無理に泳がずに浮力の確保に努める。

問9 小型船舶の船長は、その時の状況に適したすべての手段により常時適切な見張りを行わなければならないが、次のうち、適切でない手段はどれか。 (小型船舶操縦者法)

- (1) 遠くまで見えるように双眼鏡を使った。 (2) 暗くなったので前方の見張りに集中した。  
(3) 視界が悪くなったので耳をすました。 (4) 定期的にレーダーを使用して周囲を確認した。

問10 小型船舶操縦士の免許について述べた次の文のうち、誤っているものはどれか。

- (1) 二人乗りの手こぎボートに乗るときには、免許は必要ない。 (小型船舶操縦者法)  
(2) 大型船舶の免許(海技士免許)では、小型船舶の船長にはなれない。  
(3) 外国人が日本国内で船長として小型船舶に乗船するときには、免許は必要ない。  
(4) エンジン付きの長さ5メートルのヨットに船長として乗船するときには、免許が必要である。

問11 国際航海に使用しない小型船舶の、1歳以上の最大搭載人員の算出方法について述べた次の文のうち、正しいものはどれか。 (船舶安全法)

- (1) 1歳以上6歳未満の子供は3人を2人として計算する。  
(2) 1歳以上6歳未満の子供は2人を1人として計算する。  
(3) 1歳以上12歳未満の子供は3人を2人として計算する。  
(4) 1歳以上12歳未満の子供は2人を1人として計算する。

問12 環境への配慮として適切でないものは、次のうちどれか。

- (1) 航行中にたまったビルジは、油水分離器で油分を取り除いてから排出する。  
(2) 係留中に生じたゴミは、出航後、広い水域に出てから捨てる。  
(3) 切れたロープは、プロペラに巻きつくことがあるので陸上に持ち帰り処分する。  
(4) 釣り針や釣り糸は、水生動物を傷付けることがあるので陸上に持ち帰り処分する。

### 【交通の方法】

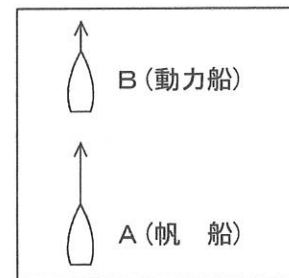
問13 行会い船の航法について述べた次の文の( )の中に当てはまる適切な語句は、下のうちどれか。

「2隻の動力船が真向かいに行き会い、衝突するおそれがあるとき、各動力船はそれぞれ針路を( )に転じなければならない。」 (海上衝突予防法)

- (1) 風上 (2) 風下 (3) 右 (4) 左

問14 右図に示すように、航行中のA船がB船を追い越そうとする場合の航法として正しいものは、次のうちどれか。 (海上衝突予防法)

- (1) Aは帆を縮めて航行しなければならない。  
(2) Bは機関を止めて停船しなければならない。  
(3) Aは早めに速力を落として航行しなければならない。  
(4) Bは針路、速力を保ち、十分に注意して航行しなければならない。



問15 横切り船の航法について述べた次の文の( )の中に当てはまる適切な語句は、下のうちどれか。

「2隻の動力船が互いに進路を横切り衝突するおそれがあるとき、その針路及び速力を保たなければならないのは、他の動力船を( )に見る動力船である。」 (海上衝突予防法)

- (1) 風上側 (2) 風下側 (3) 右舷側 (4) 左舷側

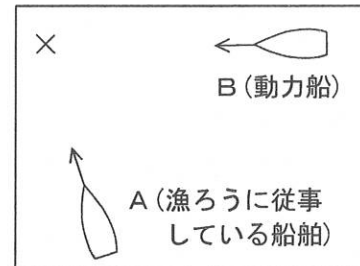
問16 避航船及び保持船の航法について述べた次の(A)と(B)の正誤を判断し、下のうちから当てはまるものを選び。 (海上衝突予防法)

(A) 避航船は、他の船舶との衝突を避けるための針路又は速力の変更を行う場合は、できる限りその変更を他の船舶がはっきりと認めることができるように大幅に行わなければならない。

(B) 保持船は、避航船が衝突を避けるために十分な動作をとっていることについて疑いがあるときは、直ちに急速に短音を繰り返し鳴らすことによる警告信号を行わなければならない。

- (1) (A)だけ正しい (2) (B)だけ正しい (3) ともに正しい (4) ともに誤っている

問17 右図に示すように、航行中の2隻の船舶が×印の付近で衝突するおそれがあるときの航法として正しいものは、次のうちどれか。 (海上衝突予防法)



- (1) Aは針路、速力を保ち、BがAの進路を避ける。  
 (2) Bは針路、速力を保ち、AがBの進路を避ける。  
 (3) Aは操業を一時やめて停船し、機関を停止する。  
 (4) Bはできるだけ速力を上げて、Aの船首方向を横切る。

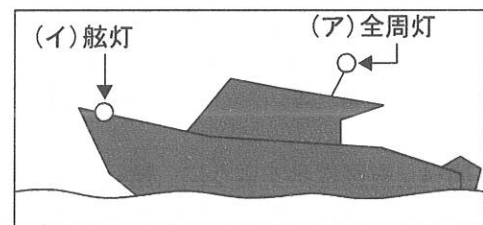
問18 安全な速力とはどのような速力をいうか。次のうちから正しいものを選び。 (海上衝突予防法)

- (1) 他の船舶に危険を及ぼさない速力 (2) 衝突を避けるための適切な動作がとれる速力  
 (3) 周囲の安全確認が適切に行える速力 (4) 12ノットを超えない速力

問19 狭い水道等における航法において、狭い水道等の内側でなければ安全に航行することができない他の動力船の通航を妨げてはならないと定められている船舶は、次のうちどれか。 (海上衝突予防法)

- (1) 長さ20メートル未満の動力船 (2) 幅5メートル未満の動力船  
 (3) 喫水2メートル未満の動力船 (4) 総トン数50トン未満の動力船

問20 右図は、夜間、左舷側を見せて航行中のモーターボート(長さ10メートル)が表示している灯火を示したものである。図中(ア)および(イ)の灯火の色の組合せとして正しいものは、次のうちどれか。 (海上衝突予防法)



- (1) (ア) 白色 (イ) 緑色 (2) (ア) 白色 (イ) 紅色  
 (3) (ア) 緑色 (イ) 白色 (4) (ア) 紅色 (イ) 白色

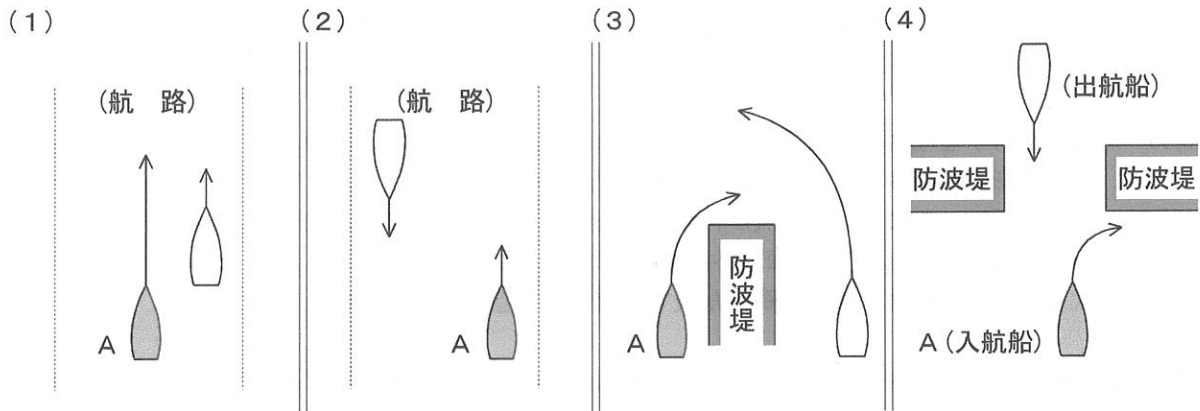
問21 昼間、船舶が表示しなければならない形象物とそれを表示している船舶との組合せとして正しいものは、次のうちどれか。 (海上衝突予防法)

- (1)  ... びょうはく 錨泊中の船舶 (2)  ... 漁ろうに従事している船舶  
 (3)  ... えいこう 曳航作業中の船舶 (4)  ... 操縦性能制限船

問22 音響信号を行う際に、汽笛及び号鐘にかえて、他の有効な音響によることが認められている船舶は、次のうちどれか。 (海上衝突予防法)

- (1) 速力7ノット未満の船舶 (2) 長さ12メートル未満の船舶  
 (3) 総トン数20トン未満の船舶 (4) 喫水5メートル未満の船舶

問23 下図は、港内を航行しているA船の状況を示したものである。A船がとった航法のうち、誤っているものはどれか。 (港則法)



問24 「雑種船」について述べた次の文のうち、正しいものはどれか。 (港則法)

- (1) 港内であれば、どのような場所に停泊してもよい。
- (2) 港内であれば、どのような場所で漁ろうしてもよい。
- (3) 港内にある係船浮標であれば、いつでも係留してもよい。
- (4) 特定港に出入するときは、航路を航行してもよい。

問25 航路における一般的な航法として誤っているものは、次のうちどれか。 (海上交通安全法)

- (1) 航路をこれに沿って航行している巨大船は、航路に入ろうとする漁ろう船等の進路を避けなければならない。
- (2) 長さ50メートル以上の船舶は、定められた地点間を航行するときは、航路を航行しなければならない。
- (3) 航路によっては、12ノットを超える速力で航行してはならない区間が定められている。
- (4) 航路を横断する場合は、できる限り直角に近い角度で、すみやかに横断しなければならない。

問26 次の河川通航標識のうち「水上オートバイ禁止」を表すものはどれか。 (河川法)



### 【運航】

問27 滑走中の小型船舶を旋回させる要領について述べた次の文のうち、適切でないものはどれか。

- (1) 速力をいったん落としてから転舵する。
- (2) 乗員は姿勢を高くして、旋回方向の反対舷から身を乗り出す。
- (3) 急ハンドルとならないよう、小角度で転舵する。
- (4) 急激な左右交互の転舵は行わない。

問28 錨泊する場合、錨とアンカーロープの間をチェーンでつなぐことがあるが、その理由として最も適切なものは、次のうちどれか。

- (1) 錨の効きがよくなる。
- (2) 錨とアンカーロープがからみにくくなる。
- (3) 錨を揚げやすくなる。
- (4) 風が強いときの振れ回りが小さくなる。

問29 航行中、普段よりも船体の横揺れ周期が短い場合、その原因として考えられるものは、次のうちどれか。

- (1) 荷物を船首付近に多く積みすぎた。
- (2) 荷物を船尾付近に多く積みすぎた。
- (3) 荷物を高い場所に多く積みすぎた。
- (4) 荷物を低い場所に多く積みすぎた。

問30 河川を航行する場合の注意事項として適切なものは、次のうちどれか。

- (1) 潮汐の影響を受け、河口付近の水位が変化することがある。
- (2) 河口付近は、川の流れと海流が合流するため水面が波立つことがない。
- (3) 河川のわん曲部では、一般的に外側の水深が浅くなっている。
- (4) 大きな川であれば、大雨が降った後でも流速や流量は変化しない。

問31 小型船舶で水上スキーやウェイクボードを引く場合の注意事項として適切でないものは、次のうちどれか。

- (1) 事故防止のため、他の船舶や遊泳者がいる混み合った水域では行わないようにする。
- (2) プレーヤー(引かれる者)との連絡のため、ジェスチャーによる合図を決めておく。
- (3) 高速より低速の旋回のときのほうが、プレーヤーが外側に振られやすい。
- (4) トーイング時には、プレーヤーの見張りを専門に行う者を同乗させるようにする。

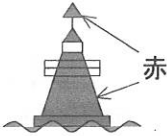
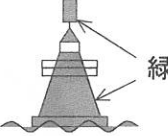
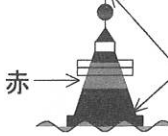
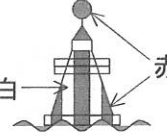
問32 日本沿岸における偏差の符号は、次のうちどれか。

- (1) 東(E)
- (2) 西(W)
- (3) 南(S)
- (4) 北(N)

問33 甲船がA地点から真針路000°で出発し、その針路線上のB地点に到達したと推測されるときに船位を求めたところ、実際はA地点から真針路010°の針路線上のC地点にあった。このような船位のずれが生じる原因とはならないものは、次のうちどれか。

- (1) 風の影響
- (2) 偏差の影響
- (3) 潮流の影響
- (4) 海流の影響

問34 日本の浮標式によると、下図に示す灯浮標のうち、入港するとき、その灯浮標の左側に岩礁、浅瀬、沈船等の障害物があることを示すものはどれか。ただし、赤、緑、黒、白は標体の塗色を示す。

- (1)  赤
- (2)  緑
- (3)  黒
- (4)  赤

問35 次の灯略記のうち、「不動光」を表すものはどれか。

- (1) F
- (2) Fl
- (3) Oc
- (4) Al

問36 海図について述べた次の(A)と(B)の正誤を判断し、下のうちから当てはまるものを選び。

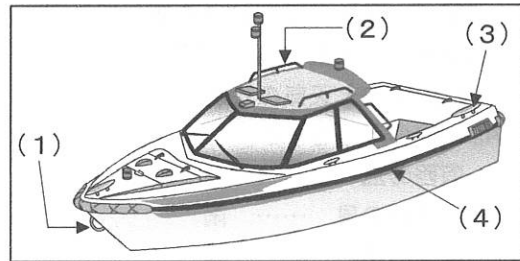
- (A) 海図に記載されている水深は、これより下に下がることはないと考えられる水面からの深さを表しているため、実際は表示より深いことが多い。
- (B) 海図上で位置を求める場合、記入した船位の左右端の目盛で緯度を、上下端の目盛で経度を読み取る。

- (1) (A)だけ正しい
- (2) (B)だけ正しい
- (3) ともに正しい
- (4) ともに誤っている

問37 海図図式「M」(底質)の表すものは、次のうちどれか。

- (1) 泥
- (2) 石
- (3) 岩
- (4) 砂

問38 右図は、小型船舶を斜め前方から見た略図である。「バウアイ」は、図中(1)～(4)のうちどれか。



問39 係留ロープを棧橋のビットに結び付ける場合は、どんな結索方法が最も適切か。次のうちから選べ。

- (1) 止め結び(オーバーハンドノット)      (2) クリート止め  
(3) 巻き結び(クラブヒッチ)      (4) 本結び(リーフノット)

問40 出航前に点検した次の事項のうち、このまま出航するには適切でないものはどれか。

- (1) 信号紅炎の有効期限が切れていない。      (2) ボトムプラグが締めつけてある。  
(3) ハッチが閉じてある。      (4) 自己点火灯が船倉にしまっている。

問41 エンジンの発航前点検について述べた次の文のうち、適切でないものはどれか。

- (1) 燃料タンクに必要最低限の燃料があることを確認する。  
(2) 燃料パイプや燃料ポンプなどに燃料漏れがないことを確認する。  
(3) 燃料コックが開いていることを確認する。  
(4) 燃料フィルターにゴミや水分が入り込んでいないことを確認する。

問42 ガソリンエンジンにおいて、シリンダー内の圧縮された混合気に火花を飛ばして点火する部品は、次のうちどれか。

- (1) コンタクトブレーカー      (2) ディストリビューター  
(3) 点火コイル      (4) 点火プラグ

問43 ガソリンエンジン(船内外機)の始動方法について述べた次の文のうち、正しいものはどれか。

- (1) リモコンレバーを前進の位置にして、スタータースイッチを入れる。  
(2) リモコンレバーを後進の位置にして、スタータースイッチを入れる。  
(3) エンジン始動後も、しばらくの間、スターターモーターを回転させる。  
(4) リモコンレバーの中立を確認して、スタータースイッチを入れる。

問44 航行中に突然エンジンが停止した場合の原因として適切でないものは、次のうちどれか。

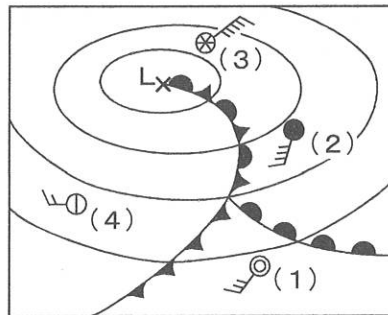
- (1) 大きな浮遊物がプロペラにからみ、エンジンに大きな負荷がかかった。  
(2) 燃料系統の故障により、燃料が供給されなくなった。  
(3) オーバーヒートにより、エンジン内部が焼き付いた。  
(4) 長期間の使用により、シフトケーブルが古くなり切れた。

問45 船外機の点検において、専門知識を持つ整備士に任せたい箇所は、次のうちどれか。

- (1) エンジンオイル      (2) 燃料フィルター      (3) インペラ      (4) Vベルト

問46 右図は、日本付近における地上天気図の一部を示した略図である。図中の地点(1)～(4)の風向と天気の説明として正しいものは、次のうちどれか。

- (1) 南西の風 …… 晴れ
- (2) 南南西の風 …… 雨
- (3) 南東の風 …… 雨
- (4) 東の風 …… 晴れ



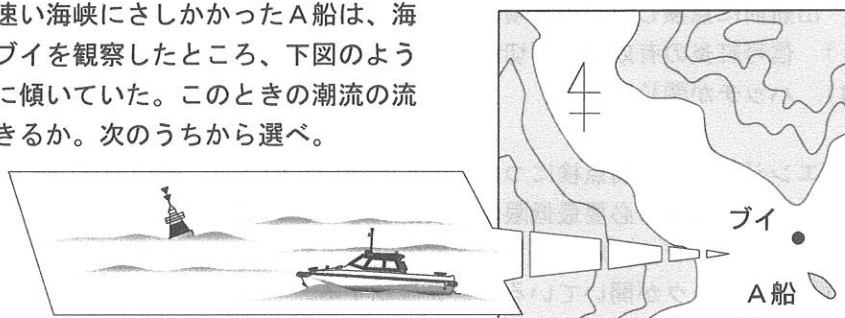
問47 高気圧について述べた次の文の( )の中に当てはまる語句として適切なものは、下のうちどれか。

「北半球の場合、高気圧圏内では右回りの( )が生じて空気が乾燥し、一般に天気がよい。」

- (1) 上昇気流 (2) 下降気流 (3) ジェット気流 (4) 乱気流

問48 右図のような潮流の速い海峡にさしかかったA船は、海峡の入口に設置されたブイを観察したところ、下図のようにブイが自船と反対側に傾いていた。このときの潮流の流向はどちらだと判断できるか。次のうちから選べ。

- (1) 北東流
- (2) 南東流
- (3) 北西流
- (4) 南西流



問49 航行中に行う荒天準備として適切でないものは、次のうちどれか。

- (1) 全員のライフジャケットの着用状況を再確認する。
- (2) 移動しやすい重い荷物は、高い場所に固定する。
- (3) ハッチや窓などの開口部を閉める。
- (4) ビルジポンプの作動状況を確認する。

問50 小型船舶の事故発生時の処置として適切でないものは、次のうちどれか。

- (1) 浅瀬に乗り揚げたときは、直ちにエンジンを後進にかける。
- (2) 他船と衝突したときは、人命救助を優先して行う。
- (3) 他船と衝突したときは、両船を直ちに引き離さないようにする。
- (4) 火災が発生したときは、火元が風下になるように操縦し、消火に努める。